京城日報
朝刊四頁

【マンダレーの攻略】全ビルマ中樞を掌握
英蔣聯合を完全分斷
印度の側背を脅かす

【ビルマ前線〇〇二日同盟】ビルマ北上作戰開始以來僅か〇日數をもつて皇軍は八百キロの行程を征服、英蔣聯合軍が死守を誓つたマンダレーに堂々入城、市の南方へ鎔えるアラカンパゴダから北方のマンダレーに至る全市街を日章旗で埋めつくした、このマンダレー占領はイラワヂ流域の守備の英印軍とラングーン、マンダレー街道地區を守備した重慶軍の間に楔を打ち込み敵兵力分散に成功したものであり引いては印度と重慶のつながりをも一擧に斷ち切つたことにもなるラングーン失陷後援蔣物資の輸送に汲々たる蔣介石は印度からアラカン山脈を越えてマンダレーに出てさらに雲南經由重慶へ通ずる新ルートによらんと企て虎の子第五、第六、第六十六軍約六萬をビルマへ送り込み日本軍の北進を喰止めんとし、一方英國もまたシャンステートの對重慶鐵道とか、北部ビルマにおける交通通信機關の讓渡などの好餌をもつて重慶軍の士氣を振ひ立てようとあせつた、しかしかうした諸作戰も皇軍精鋭の前には何等なすところなく敵聯合勢力は完膚なきまでに粉碎され、その企圖は一朝にして崩されてしまつた、殘された西北ルートなるものは獨ソ戰以來有名無實となつてゐる現在重慶には最早對外ルートはないのであつてその抗戰力低下はいよく拍車を加へらるゝわけだ、また今次重慶軍のビルマ進駐はその軍隊の素質劣惡振りを天下に暴しさなきだにビルマ人に重慶軍は惡鬼の如きものなりとの惡感情を植ゑ付け、しかもこれを拭ひさる機會を永遠に喪失せしめ、今後一歩たりともビルマに足を踏み入れることが不可能となり、重慶側民衆に種々の點で多大な失望を與へてゐる、一方英國としても今次マンダレー失陷は永年に亙つて築き擧げた東亞におけるその勢力の完全敗退を意味し印度に對する脅威が倍加されたのである、しかるにマンダレー陷落はビルマ人に對し彼等のものが再び彼等の手に歸したといふ民族的歡喜を與へ今後大東亞共榮圏の一員として日本と協力本來の東亞を確立せんとする熱意を強ひ日本に對する信頼度が増加することになりこの影響は種々の點から至大なものがある

【ラングーン二日同盟】皇軍のマンダレー占領が重慶に與へる致命的影響はいふまでもないが、殊にマンダレーをもつて印度防備の前衞基地として來た英軍は同地の地理的重要性に鑑みその憂慮と狼狽ぶりは言語に絶するものがある、すなはち同地がビルマの中央に位して、しかも印度東北部の要地イムパールとの間八十六里といふ地點にあるだけに英軍としてはまさに印度の側背を衝かれる窮境に立つこととなつたので、今次マンダレーの占領は單にこの觀點よりするも英軍の重大なる足場を奪ひ印度における英軍に對し一大脅威を與へるものとして注目される

砲彈の中ビルマ戰線を征く決死の輸送隊【陸軍報道部檢閲濟】電送

精鋭、酷熱を强行
ビルマ人獻身的協力

【ビルマ戰線二日同盟】英蔣聯合軍抗戰中樞たるマンダレーは遂に陷落した、去る三月八日首都ラングーンを占領して南部ビルマを制壓したわがビルマ方面作戰主力は鋒を北に轉じ酷熱に耐へつゝ八日快調の進擊を敢行して北部ビルマの英蔣聯合軍を擊碎、潰亂せしめマンダレーを攻略し英蔣聯合軍を完全に分斷したマンダレーは遂に陷落した、マンダレーは今から五十八年前ビルマがイギリスに併合される迄ビルマ王朝のあつた舊都、政治、交通の一大中心地をなしてゐたがイギリスの支配下に入つてからも北部ビルマの政治、軍事、交通の中心地であり戰略地として總督府、軍司令部など政軍の機關が移されてゐた、また北部ビルマから支那に通ずるいはゆる援蔣ビルマ公路の中間據點をなしてゐた一方アラカン山脈を越えて印度に通ずる交通の要衝であり軍事、交通上彼らのもつとも重要地だけに英蔣聯合軍の抗戰中樞をなしてゐたのであるが今や皇軍の攻略によつて英印軍と蔣介石軍との握手の手も切斷され英蔣軍に致命的打擊を與へたわけである、加ふるに神速果敢な皇軍の殲滅戰によつて四散逃走する敵軍組織の崩潰を招來するの破目に陷り從つてその抗戰力は著るしく激減して英軍の如きは最初ビルマに進駐した當時の優秀な機械化兵團三ケ師に相當する戰力は敗戰に次ぐ敗戰に潰亂し北部あるひは印緬國境に遁走し、今日では一ケ師團に相當する兵力が殘留出來ない狀態に陷り、戰意は全く喪失してゐる、また蔣介石軍は皇軍の猛烈なる攻擊突破によつて整然と後方に退却する餘裕もなく分裂四散し山中に遁入彷徨の潰亂ぶりであるが、われと抗戰打擊をうけた蔣介石をして「わが軍の一ケ師團は日本軍の二ケ大隊にも及ばぬ」と嘆ぜしめたほどの戰力で、これも英印軍同樣戰意喪失し、末期的症狀を呈し搭餘的にビルマ人部落を襲擊するなど暴虐の限りを盡し、ビルマ民衆の反感を昂め遂に八ケ師の兵力も微弱な攻擊力しか有せぬほどの分裂狀態を生じてゐる、しかしこの戰果の陰に炎熱と鬪ひ困苦缺乏に耐へたわが將兵の旺盛なる精神力と殷賑ならびに皇軍に信頼するビルマ民衆の獻身的協力のあることを特記せねばならぬ、室内で百五度、屋外で百四、五十度といふ内地では想像も出來ぬ炎熱と鬪ふだけでも將兵の勞苦はなみ大抵ではない、照りつける地ビルマは無風狀態の日が多くたまく吹く風も一種耐へ難い熱氣を孕んでこの熱風のなかに敵を求めて進擊する部隊ははるか遠方の河水を頼りにこの炎熱の下十里、十五里の强行軍を續ける全く超人的敢鬪ぶりであるさらに困難なことはマラリヤ、ヤベングなどの風土病との鬪ひであるしかし將兵はこれらを冒して進擊し憩ふことはなかつた、この幾多の辛苦を緩和して來たものにビルマ人の獻身的努力があつた、糧食、物資の蒐集、購買の斡旋から行軍するわが將兵に對する水くみなど枚擧に遑なく心からの親善風景が各戰線に描き出された

文字通り廢墟
マンダレー焦土の跡

【マンダレー二日同盟】頑强に抵抗する敵を擊破、マンダレー目指す第一線部隊とともに記者も行軍を急いだ、鐵橋が支那軍の爆破で眞ッ二つに折れてゐるのを左に見てまづわれくはマンダレー地區に入る、こゝからマンダレーまで約八キロ坦々たる道路の兩側に……

大東亞戰爭完遂へ
貢賞の保險
千代田生命
相互組織

要衝、ピキツト占領
【西部ミンダナオ戡定近し】ガナシンも確保

【ミンダナオ島〇〇前線二日同盟】コタバト占領後陸軍部隊はミンダナオ河を遡江進擊、三十日正午にはヅラワン、一日午前十時にはペイヅプランギを相ついで陷れ〇〇より陸路進擊に移り敵の抵抗を排除しつゝ同日午後五時半要衝ピキツトを完全に占領、さらに戰果を擴大中である、かくてミンダナオ島の重要農産地たるコタバト平地はコタバト占領以來僅か三日にして早くも皇軍の制壓下に歸した

【ミンダナオ島〇〇前線二日同盟】パラングに上陸したわが陸軍の精鋭諸部隊はマタリング河（パラング北方約六十キロ）沿岸の天然の要害によつて頑强に抵抗する敵と激戰、數時間ののちこれを擊碎、さらに一日午後から友軍の〇〇砲が威力を發揮し殷々たる砲聲は山野に谺して敵を完全に制壓、先鋒部隊は早くも二日午前五時半には海拔七百メートル風光明媚をもつて知られるラナナ湖西南端の要衝ガナシンを占領した

“侵略者に非暴力
印度防衞協力せず”
國民會議派決議す

【リスボン二日同盟】ロイター通信アラハバツド電によれば全印度國民會議派運用委員會は一日夕刻アラハベツドに大會を開催、印度獨立擁護に關し如何なる侵略に對しても非暴力、非協力をもつて臨むべしとの戰時決議案を票決に附した結果、百八十對四票の絶對多數で採擇した、同決議案内容左の如し

全印國民會議派委員は自由か外國からの干渉、あるひは侵略によつて印度に齎されるといふ觀念を排除する、侵略の行はれた場合には敢然抵抗すべきである、但し抵抗は英國政府が印度民衆による國防擁護編成を拒否し時に起つた非暴力、非協力の方向をとるものである、印度人は侵略者に對し平身低頭するものでなく又如何なる命令にも服從し得ない若し侵略者が吾人の家屋、田畑を占有せんとするならば吾人はこれが抵抗のため死するとも拒否するものである、英國政府の提案ならびにクリツプスの聲明は吾人の猜疑の度を增し、英國政府の不信任と英國との非協力的精神をますく昂揚せしめた、この非常時に際しても未だ英國政府であるといふことを露呈し印度の獨立承認を拒否して

ゐる、印度防衞のため外國軍が渡來することが云々されてゐるが、印度人の强大なる人力はその防衞のために利用されてゐない印度の過去の經驗は印度に外國軍が來ることは印度の權利を阻害しまた印度の自由を冒すものなることを覺えてゐる、印度民衆の家財が外國當局によつて自由にされるやうなやり口に對しては反對である

重光大使新京着

【新京三日同盟】重光駐華大使は滿洲國視察のため三日午後三時五十分着列車で京城經由新京へ到着した、約一週間滿洲國視察の豫定

續々皇軍に歸順
比島共產黨一掃近し

【ルソン島中部前線〇〇二日同盟】比島における共產黨と社會黨は合同して共產社會合同黨と呼稱しペトロ・アバド・サントスを黨首に黨員五萬を擁し中部ルソン、パンガテルラツク州を根據地としてコミンテルンの指令のもとにアメリカ政府の職權下に顚覆して來たが、大東亞戰爭勃發を機會に武裝蜂起、掠奪、放火、强盜殺人など暴虐の限りを盡し良民の怨嗟の的となつて來たので、わが軍は一月二十五日以來サントス黨首以下合同黨幹部を一網打盡的に檢擧しエーサン以下六ケ町村二千名の黨員が武器を捨てわが憲兵隊に歸順を申出でたが、これに引續き五ケ町村約二千名の黨幹部黨員も歸順を見る模樣であり、中部ルソンも漸次明朗に立ち返らうとしてゐるなほ黨首ペトロ・アバド・サントスはわが〇〇部隊の疾風迅雷の如きセブ戡定作戰によりセブ市に潛伏中を逮捕されたが比島政府司法大臣オセ・アバド・サントスの弟である

パタアン陷落によつて皇軍の治安工作が着々と進展し反省の機會を與へられてより彼らは鬪志を喪失、つぎくに歸順を申出でつゝあり、四月末日までにサンフエルナンド町長ベソンタ・ク……

荒鷲、ホーン島爆擊
ソロモン島ツラギにも巨彈

【〇〇基地三日同盟】連日にわたるポートモレスビー猛擊に引つゞき帝國海軍航空部隊は四月廿日濠洲本土北端の要衝ホーン島に對し第二次空襲を決行し飛行場滑走路中央部、飛行場施設その他に全彈を命中せしめたなほ同日ソロモン島ツラギを猛爆擊したが、同所には敵機影を認めず軍事施設に大損害を與へわが全機無事歸還した

蔣共軍、殲滅の火蓋
山東、河北省境
精鋭、鐵環壓縮

【黃河々畔にて二日同盟】山東、河北、河南の省境にあつて無辜の農民を抗戰に使嗾し飽なき搾取を行つて赤化をはかりつゝある共產系冀魯豫邊軍第百二十九師（師長劉伯誠）および共同第三旅（旅長楊勇）の約二萬二千ならびにわが軍慶次の攻擊によつて滅亡の一途を辿りつゝある高樹勳約二萬七千合計約五萬の蔣共軍勢力を斷乎覆滅し舊黃河々畔の豐饒な大平原の治安を確立すべく去る二十九日天長の佳節を期して皇軍諸部隊は一齊に舊黃河々畔に壯烈なる總攻擊の火蓋を切つた、わが各部隊は夫々緊密なる協同の下に山東、河北省境の武城、威縣、廣縣などの敵本據を包圍し果敢なる攻擊を展開着々戰果を擴大中であるが、作戰開始以來僅か二日間にして敵遺棄死體一千七百七十六、捕虜五百七十四、鹵獲武器多數の赫々たる戰果を收めてゐる

銀輪部隊も活躍

【黃河々畔にて二日同盟】京漢線方面より河北の大平原を東進せる……

重慶、ビルマ增援

【南京三日同盟】當地に達した情報によればビルマの危機切迫に狼狽した蔣介石は去月十七日成都行營主任張群に對し四川、西康兩省で訓練した新部隊をもつてビルマ派遣軍を增援せしむべく指示を與へたといはれるが、張群は右指令に接するや直ちに西康省雅安に赴き主席劉文輝以下將領と會見、ビルマ防衞に關して打合せを遂げたなほ張群は五月上旬特派使節として印度に赴き駐印專員沈武華を助け英印當局と交渉を進めることとなつたといはれる

空輸のほかなし
重慶援助愈よ悲鳴

【ブエノスアイレス二日同盟】ビルマ戰線における日本軍の壓倒的制壓により重慶唯一の補給路は完全に遮斷されることとなつたが、ビルマ路遮斷が重慶に如何に重大な心理的、物質的危機を導いたかについては聯合國側も十分に認識してゐるところで、これに關し近着の米有力紙タイムスは四月廿七日發行紙上で次の如く述べてゐる

……今や重慶はビルマ石油供給地よりの連絡を實際に斷たれてしまつた、これがためトラツクは木炭車に轉換されるまでは全然無用のものとなつた、しかも支那には燃料用木炭は極めて貧困で重慶が軍用トラツクを木炭車に改造しても大して用をなさないであらう、重慶はふたゝび二輪車の昔に還りすでに重慶首腦者たちも人力車を利用してゐる、ビルマ路に代る輸送方法の一つとして僅かに希望を繫ぎ得るものは輸送機百機を製作し印度西岸に陸揚げした貨物を印度北部アツサム地方の飛行場から重慶に空輸する道があるのみである、この方法により假に兵營の飛行機を毎日一往復せしめるとすればやうやく一ケ月九千乃至一萬二千トンを輸送し得ることゝなるしかして空輸により自動車部分品、小口徑砲、發動機部分品、藥品、ラジオ部分品など從來のトラツク輸送品の大部分は輸送可能である、しかしこのためには極めて多數の飛行機を必要とするので重慶にとつては重大負擔となるであらうが、もはや重慶に殘された物資輸送策はこれ以外はない

重慶援蔣路
確保に喘ぐ

【南京三日同盟】當地に達した情報によれば蔣介石は去る四月十八日重慶においてマグルーダー米軍事使節、ガウス米大使と會見し重慶への供給に當てる……

内相急遽歸京
首相と重要協議

【東京電話】伊勢神宮遷座祭に參列のため西下中の湯澤内相は東條首相の急電に接し三日午前九時半名古屋發立川着、直ちに首相官邸に入り同十一時より午後零時五十分まで星野書記官長を交へて重要協議を行つた

總督府辭令（三十日附）

（辭令本文略讀不能）

廣告税の完納を期する爲
メンソレータム……

戰車記念日掉尾の壓卷！

戰車記念日掉尾の祭典 寫眞說明＝堂々京城市中を大行進する戰車部隊【上右】と學生銀輪部隊【右下】陸軍戸山學校軍樂隊の市中行進【中】京城運動場における大野外演奏會【上左】

豪壯絢爛、戰車の祭典
堂々地軸を搖がして大行進

五月一日から開催された機械化國防協會朝鮮本部主催、戰車記念日第三日の三日は午前十時半から京城府内に一部の機甲部隊をもつて機械化部隊の市中大行進が行はれた

この日、午前十時本府前に集合した參加部隊は、中、小型戰車數十台、裝甲自動車數十輛、學生機械化部隊の自動車十數輛、及び京畿中、龍中、青訓の銀輪部隊七百—

三橋少將、高橋朝鮮軍參謀長に人員報告を終り、總指揮官板井大尉の指揮刀一閃すれば、轟音地軸をゆるがして戰車隊堂々の行進は開始された、これぞ府民の熱誠にこたへて贈る豪壯絢爛たる〃戰車の祭典〃——安國町から鍾路へ、更に東大門へと、兩側の人道は人で埋まり、ビルの商店の

窓といふ窓 には人の顏が鈴なり、戰車の轟音に劣らぬ歡聲が、そこここから捲き起こされる

可愛い坊やがお母さんの背で日の丸の小旗を切れるやうに振つてゐる、老夫婦が人混みにもまれ助け合ひながら萬歲を叫んでゐる

この戰車の、この將兵の、血が、魂が、そのまゝ南方戰線に活躍するわが戰車隊まで續いてゐるのだ

はるか南の空を偲びながら府民は感謝と力強い激勵に、熱狂した歡聲を浴びせかける、機械化部隊は

一糸亂れぬ 隊列を東大門から京城グラウンド、黄金町、鮮銀前に進み、同十一時五十七分、一時間餘にわたる大行進を終り、府民に多大の感銘をあたへ、南大門で解散した

お、雄大なる調べ
陸軍々樂隊、都大路を魅了

戰車隊の市中行進に引つゞき、陸軍戸山學校軍樂隊の市中行進が、都合により豫定より二時間延期され午後零時半から擧行された、定刻南大門國民學校に集合した軍樂隊は校庭で〃愛馬進軍歌〃演奏ののち、小山教官指揮のもとに市中行進にうつる、トランペットが鳴る、サキサホーンが響く

大太鼓が 勇壯なリズムを奏でる、分列行進曲に合せた整然たる演奏行進に府民は讃嘆の聲をあげ、驟雨のやうな拍手を浴びせる、府廳前を通り、光化門から右へ折れ鍾路、東大門を行進、京城グラウンドに到着すれば、遞信局から贈られた歡迎の傳書鳩數十羽が空に放たれた

朝鮮はじめての勇壯な野外演奏を聽かんものとこの日グラウンドに押しかけた聽衆約八萬

さすがの 大スタンドも人で埋めつくされ、フイールドまでも鈴なりになる盛況であつた

會は先づ國民儀禮に始まり、三橋機械化國防協會朝鮮本部次長の挨拶あり、京師ブラスバンド合唱團による『機甲國の歌』『少年戰車兵の歌』演奏の後、いよく待望の陸軍々樂隊大演奏會にうつつた

曲目は九曲、いづれも勇壯な行進曲、豪壯な名曲、四十七名の

軍樂隊員 によつて奏でられる雄大な調べは四周の山々に谺し一曲終るごとに聽衆は萬雷の如き拍手を傳送させるかくて八萬の聽衆を魅了しつくした演奏を終り古市京畿道内務部長の發聲で萬歲を三唱、同午後四時、絢爛たる野外大演奏會の幕を閉ぢ、更に軍樂隊はグラウンド、黄金町、鮮銀前、南大門の順路で市中行進を行ひ、戰車記念日に贈る意義深い軍樂の祭典を終つた

學童代表一行
京都の聖地巡拜を終る

【京都にて山下特派員發】協和會職員の出迎へを受け京都驛から宿舍に這入つた半島學童代表聖地參拜團一行は明日の巡拜を樂みに安らかな夢を結んだ、明くれば三日京の街は靜かな春雨の中に浮んでゐる、市觀光のバスに揺られて先づ桓武天皇を祀ります平安神宮に參拜、寢殿造り社殿に古き文化を偲びそれより圓山公園を見物、知恩、清水、卅三間堂など東山三十六峰の懐に包まれた寺々を巡り、豐國神社では吉田元朝鮮神宮々司代理の先導で特別參拜を行ひそれより桃山御陵に參拜、感激をいよいよ深めた一行は乃木神社に將軍のおもかげを偲び最後に府のはからひで特別に許された御所拜觀、感激溢るゝ京都の聖跡巡拜を終つた

壁のやうな彈幕
敢然、突入した海鷲魂

【〇〇基地にて二日北海東報道班員發同盟】ハワイの緒戰に太平洋における艦隊主力を全く喪失したアメリカ海軍は堂々たる對日攻勢を取り得ずゲリラ戰を行つて辛うじて國内輿論の非難からのがれんとしてゐるが、去る二月二十日のニユーギニヤ沖の大海戰も〃アメリカのゲリラ艦隊〃殲滅の戰ひであり、ニユーブリテン島の〇〇前進基地に翼を休める海軍航空部隊伊藤中佐（當時少佐）以下の戰部が率先『體當り』を決行して出撃、敵中型航空母艦以下を殲滅したのである

ニユーギニヤ沖東北洋上〇〇〇浬でアメリカのゲリラ輪形陣を發見したのはわが哨戒機〇〇艇であつた、最前線の航空基地では常に〇百浬の洋上隈なく哨戒してゐる〇〇艇は直ちに『敵艦發見』の第一報を打ち終へて重責を果した坂井登大尉（當時中尉）と〇名部下は直ちに敵航母目指して眞一文字に突込み彈幕に遮られつつも敵艦の舷側に壯烈な自爆を遂げた、哨戒機から無電を接受した〇〇基地では

間髮 を入れず伊藤中佐、瀬戸少佐、中川少佐の指揮する攻撃隊の大編隊が飛び立つた、つゞいて三谷大尉（當時中尉）指揮する編隊も飛び立つ、進撃前から體當りを決心し『敵航母粉碎せねば止まぬ』海鷲精神が猛然とたぎつてゐた、敵上空に殺到するとわが大編隊の前には厚い厚いコンクリートの壁のやうな彈幕が待つてゐた

黒い煙、黄い煙、これは燒夷彈であらう、五マイル四方の圓形の彈幕に大編隊は一糸亂れず突入した、指揮官は眞先に突つ込んでゆく、その一番機は不幸右エンジンから火を吹いた、消火に努めつつ、なほ群がる敵戰鬪機を蹴散らしながら航母上に殺到し最後の瞬間まで巨彈の雨を浴びせつづけるのだ、あゝ伊藤中佐機が敢然と彈幕に突込んでゆく、巨彈を抱いてつづいて一機また一機また編隊は再び旋回して敵航母の上に勇姿を現はした、彈幕の下には敵航母を中心に巡洋艦、驅逐艦の徑五浬の輪形陣が右往左往同志射ちをするほどに主砲までガンくと射つて右往左往逃げ迷つてゐる、第二回目の爆撃機この時つづいて指揮を取る三谷大尉機が突込んだ、敵中型航母は火を吹いた、五百メートルの空まで黒煙の柱が吹き上つた

殘る編隊は傷つきつつも悠々と

敵機 追尾する と四十分餘り戰鬪を交へて基地に戻つたのである、關係の最前線〇〇基地では傷ついて歸らざる僚機を待ちわびた、三谷機編隊の一番機の乘組員は生きるも死ぬも紙一重の崇高な海鷲魂に燃える感激を次の通り瞭瞭と語つてゐる、三谷機につゞいて自爆しようと思つたが全彈投下してゐるので基地に戻つて爆彈を積んで改めて自爆しようと歸つて來たのだ

急設電話
十一日から受付

昭和十七年度電話至急開通申請の受付は十一日から十六日までの六日間と決定したが、本年度も前年度と同じやうに公益上又は時局上緊要な事業の用に供するものの外認可されないことになつてをり、本年度は資材の關係で架設數が前年度の三千箇の約五割程度となる見込みなので例へ公益上および時局上緊要な事業に用ひるものでも小規模のものや既設電話を有する場合等は大體認可されないものとみられる

〃標準突破〃七十％
きのふ全鮮で審査會

健民運動第三日目は恒例の本社及び每日新報社共催「第四回全鮮優良幼兒表彰審査會」が總力聯盟、朝鮮社會事業協會後援で全鮮に繰展げられ、永遠に健やかに伸びゆく日本の〃健民〃の雄叫びが奏でられた

この日京城では三越、和信を會場に城大和泉小兒科長、同高井博士（三越）醫專弘中博士、府民病院李小兒科長（和信）が助手、看護婦とともに準備を整へて待てば兩會場には午前十一時どつとばかりに押し寄せた滿二歳から四歳までの興亞の坊ちやんで賑やかに審査は始められた

さすが御自慢の赤ちやんだけあつて丸々肥えた裸を體重、身長、内科診斷とみなれぬ白衣のお醫者さんに泣き出しながらも審査は進められてゆく

コレ！泣くと兵隊さんに笑はれるぞ！白髮の老爺が自慢の孫をしきりに激勵、若いお母さんは確信と危惧のまぢつた複雜な表情でお醫者さんの手から手へ渡るわが兒をみつめてゐる、かくして午後三時までには兩會場とも合二百名からの優良兒を審査し終へたが、優良兒標準を突破した坊ちやん孃ちやんは七十パーセントといふ好成績、喜びに溢れた殊勲甲のお母さんに抱かれた興亞の寶は來る再審査を期してそれぞれ元氣いつぱい引揚げた

優良幼兒表彰會

護れ純潔！
けふ健民運動第四日

力強く繰展げられた健民運動第四日、けふは性病豫防日だ、大東亞戰下、性病は國の恥とこの日は擧げて性病に關する智識の普及徹底が各種厚生機關を通して大々的に行はれるが、京畿道では道廳前の厚生相談所を開放して無料相談に應ずるほか、京城、仁川、開城では醜業婦に對し結核並に性病に關する講演、映寫會を開催する

豆戰士の武道大會

いでや一本勝負と健民運動に颯爽と名乗りをあげる興亞の豆戰士達の武道大會が臨力鍊成の三日午前九時から府内黄金町陣之内道場で開かれた、國民儀禮ののち少年部の一本勝負を開始、赤いお胴をつけた可愛い國民學校の兒童が眞ツ向から氣合鋭く切り込む必殺の劍、エイヤーの掛聲も勇ましく火花散る熱戰を演じて健民ぶりを發揮した、續いて青年部、女子部の試合が行はれ正午散會した

きのふの健民運動

【寫眞】＝和信會場における乳幼兒審査會（上）と豆戰士の一本勝負

健民運動映畫會

京城地方遞信局では健民運動の行事として府内左記各所で午後八時から映畫會を開催し健民運動の趣旨徹底につとめる

四日京城芳山國民學校々庭▲五日徽文國民學校々庭▲六日京城職業學校々庭

大學リーグ戰延期

【東京電話】三日擧行の豫定であつた東京大學野球春季リーグ戰早大對法大、明大對立大各二回戰は球場の狀態不良のため延期と決定、日程は追つて決定される

感激の對面を終へて……
半島遺族部隊、元氣で歸る

【釜山電話】護國の神として今は靖國の神社に神鎮つた我が子、我が兄、我が夫に感激の對面を終へた朝鮮遺族部隊一行五十七名は山口縣に派遣され三日朝少しの疲れも見せず元氣一ぱいで釜山に上陸、靖國の遺族と別れの言葉を交し〃大陸へ〃でそれぞれ歸郷したが、引率者山口縣は左の如く語る

朝鮮部隊は全部で百五十七名でありましたが、そのまゝ内地にとどまつた者、墓參りその他で各地に別れたので殘る五十七名が何等事故もなくお參りして歸りましたことは、これは神として靖國に鎮まる英靈の守護であると感謝してをります、遺族部隊は至るところで歡待にあづかり、松風の女店員などは自分の買物切符を讓り心から勞つてくれました

話題特急

☆……『石川五右衞門、釜の中、おいらはビルマの釜の中』といふ唄が、前線の將兵に歌はれるほど酷暑のビルマ戰線では、街頭のアスファルトも溶ける百卅度の暑さだ、勇士の顏も日灼けでビルマ人と間違へられるほど眞つ黒だ

☆……『こいつは一日でこれです』と指ざされた一等兵は、一日の行軍で日ぶくれがするほど眞ツ黒に灼けてゐる、走る自動車の鐵の部分は觸れると火傷する、『油を塗れば忽ち目玉燒きが出來ます』とは一將校の話だが……そこまではさて……

☆……日本時間の午後四時ころがもつとも暑い、熱帶樹の葉までがくつたりしてゐる、しかし戰ふ將兵は常にこの酷暑を克服してゆく、全身の戎衣をぬらす汗も、燒ける太陽も、乾き切つた道をも克服して行くのだ

☆……マンダレーへ〇〇哩、ラングーンへ〇〇哩と書れた道路標識の前に立つて

『半分以上過ぎたぞ、あと一息』と戰友を顧みる將兵は『石川五右衞門釜の中、おいらはビルマの釜の中、釜の中でも暑くても、おいらは東亞の戰士だぞ、行け行けビルマ』の唄とともに酷熱との鬪ひは果敢につゞけられて行くのである【ビルマ〇〇前線三日同盟】